

会 議 記 録 ( 1 )

会議名称	令和元年度第3回北本市文化財保護審議会
開会及び 閉会時間	令和2年1月27日(月) 午後2時00分開会、午後5時45分閉会
開催場所	北本市役所 会議室3-B
議長氏名	下村克彦
出席委員 (者)氏名	下村克彦 松本富雄 内田賢作 岡田勝雄 若松良一 岡部正安 今井正文
欠席委員 (者)氏名	佐々木茂
説明者の 職 氏 名	教育部参与兼文化財保護課長 磯野治司 同課長補佐 齊藤成元 同文化財保護係主任 坂田敏行
事務局職員 氏 名	教育部参与兼文化財保護課長 磯野治司 同課長補佐 齊藤成元 同文化財保護係主任 坂田敏行 同主事補 吉田歩
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開 会</li> <li>2 あいさつ</li> <li>3 諮 問「デーノタメ遺跡の保存及び活用について」</li> <li>4 報 告             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) デーノタメ遺跡の最近の動向について                 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 新聞報道について</li> <li>② 日本考古学協会の要望書と回答について</li> <li>③ デーノタメ遺跡の内容確認調査について</li> <li>④ 第3回シンポジウムについて</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>5 議 題             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)デーノタメ遺跡の保存及び活用について(諮問)</li> </ol> </li> <li>6 その他             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)次回の日程について</li> </ol> </li> <li>7 閉 会</li> </ol>
配布資料	資料1 新聞記事(毎日新聞、読売新聞) 資料2 要望書写し 資料3 令和元年度デーノタメ遺跡内容確認調査について 資料4 シンポジウム デーノタメ遺跡が拓く縄文の世界Ⅲのチラシ 資料5 デーノタメ遺跡の保存及び活用について

会 議 記 録 ( 2 )

発 言 者	発 言 内 容・決 定 事 項
	司会進行 文化財保護課長 磯野治司
事務局(磯野)	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ 下村会長あいさつ 清水教育長あいさつ</p> <p>3 諮 問 「デーノタメ遺跡の保存活用について」諮問</p>
事務局(磯野)	<p>4 報 告</p> <p>(1) デーノタメ遺跡の最近の動向について</p> <p>① 新聞報道について 事務局より資料1をもとに説明</p> <p>② 日本考古学協会の要望書と回答について 事務局より資料2をもとに説明</p>
事務局(坂田)	<p>③ デーノタメ遺跡の内容確認調査について 事務局より資料3をもとに説明</p>
事務局(齊藤)	<p>④ 第3回シンポジウムについて 事務局より資料4をもとに説明</p>
松本副会長	<p>保存要望書を協会から出した経緯で、なぜこのタイミングなのかといいますと、総括報告書が刊行され、きちっと成果が公開されたことによります。協会のなかの埋蔵文化財保護対策委員会では、デーノタメ遺跡が調査を行いながらも保存されている状況が見られている。また、関東近県の委員さんたちも昨年度の内容確認調査を視察に来ており、さらに、報告書を見ても重要な遺跡であると認識したところにより、このような形の要望が出たときいております。</p>
事務局(磯野)	<p>報告での補足なのですが、シンポジウムについて各地区の掲示板と広報にて告知をさせていただいています。</p>
松本副会長	<p>結構反響はあるみたいで、チラシなども評判がたいへんよろしい。成功するといいですね。</p>
下村会長	<p>報告についてはこれでよろしいでしょうか。それでは5番の議題に入りたい</p>

	<p>と思います。</p>
<p>事務局(齊藤)</p>	<p>5 議 題 (1)デーノタメ遺跡の保存及び活用について (諮問) 資料5 デーノタメ遺跡の保存及び活用について 答申案を読み上げて説明。</p>
<p>下村会長</p>	<p>今回は諮問があることがわかっていましたので、松本委員とともに案文について検討し、事前に委員の皆さまに提示させていただいております。ご意見をいただければと思います。</p>
<p>今井委員</p>	<p>文章表現ですが、下から11行目「貴重な」というより「稀有な」としたほうが良いと思います。他にもあるが特徴的であるとしたほうが良いと感じました。また、細石刃核を伴う大集落と前期後半の遺物が散見されるので、このあたりも考慮に入れ、答申に盛り込んでいたほうが良いのではないかと思います。</p>
<p>下村会長</p>	<p>遺跡の始まりと断続的に集落が営まれていたことを書き込むのもいいかもしれませんが。そのあたりは如何でしょうか。</p>
<p>今井委員</p>	<p>大宮台地では、細石器を伴う遺跡としてはかなり有望と考えています。低地からの出土しており、プライマリーな出土状態と思います。</p>
<p>下村会長</p>	<p>遺跡の継続性については、加曾利EⅢ式までとしています。中期最終末の存在の可能性は考えられるか。</p>
<p>事務局(磯野)</p>	<p>遺物の出土はありますが遺構が確認できていません。</p>
<p>下村会長</p>	<p>遺跡の継続が一時中断するのでしょうか。</p>
<p>松本副会長</p>	<p>小規模化するとして、継続について入れ込むといいかもしれません。</p>
<p>今井委員</p>	<p>継続的な営みが考慮される という表現はどうでしょうか。</p>
<p>事務局(磯野)</p>	<p>後期初頭まで継続して、位置を違えて連続するといった表現でしょうか。</p>
<p>若松委員</p>	<p>後期初頭までの継続が推定されるとした表現では弱いでしょうか。</p>

会 議 記 録 ( 4 )

今井委員	後期前半までは継続が推定されるとしてもいいと思います。
松本副会長	後期になって集落の占地が変わるが、継続しているとしてもよいと思います。
今井委員	前期の話もしましたが、北本の縄文人にとって魅力的な土地であったことを伝えていきたいと思います。中期中葉から後期前半まで継続性が推定されとした表現が良いと考えます。また縄文中期の環状集落としては最大級の規模であることが確認されていると書ければいいのではないのでしょうか。
松本副会長	今井委員が言うように、旧石器時代末葉から人々の注目を集める土地であったとすることを前半部を書いて、その中でも中期集落は卓越しているのだと言っておくことがいいのかと考えます。また、デーノタメという湧水が時代を超えて人々に必要とされていたことを加えておけば、低地遺跡を合わせて残すことの意味にもなるのではないのでしょうか。
事務局(磯野)	デーノタメの役割を今までことあるごとに伝えてきたのですが、今回入れ込まずに書いてしまいました。これは復活させたいと思います。
松本副会長	このことが遺跡の魅力と特性でもあります。これは活用の仕方にもかかわることですので、文化財保護審議会として言っていくことが大切かと思います。
事務局(磯野)	ご指摘のあった箇所について変更、修正をして、次回に提示していきたいと思えます。
松本副会長	低地部を含めて重要である遺跡だと訴えていったほうがいいと思います。
下村会長	「砂道」は砂の道でもいいのではないか。
若松委員	現状の自然環境を入れておいたほうがいいのではないか、「里山空間」を具体的に表現したほうがいいのではないか。
松本副会長	「縄文の里山空間」とはどのようなことか。
事務局(磯野)	最近言われていることですが、縄文時代においても人々が森を改変して暮らしに役立てていたということを伝えたかったということです。
若松委員	意味が少し飛躍するので、現状の植生を活かしたというようにするのはどう

	<p>でしょうか。その上で縄文の里山を復元するとしたほうが良いと考えます。</p>
<p>松本副会長</p>	<p>縄文時代の里山は、現在みられるコナラの単純林とは違い、もっと多様性があるものと認識しています。今度は縄文の里山でシンポジウムを行うのも手かと思えます。縄文時代においても生活に密着した林の利活用が行われたことを伝え、現在の生活につながっているという認識を持ってもらい、遺跡が身近なものであることを認識していただくことは良いと思えます。</p>
<p>若松委員</p>	<p>いずれにしても、水と森林環境が良く残っていることを書いておきたいと考えます。</p>
<p>事務局(磯野)</p>	<p>現在の自然環境を活かしたということを加えていきたいと思えます。</p>
<p>下村会長</p>	<p>「住民と行政が協働し」というところは少し具体的すぎないか。これが足かせになると動きづらくなりかもしれません。</p>
<p>岡田委員</p>	<p>デーノタメ遺跡を知らない住民はまだたくさんいます。このことを踏まえて昔あった「桜と歴史の里づくり」構想から続いているまちづくりの一環としたほうが良いのではないのでしょうか。</p>
<p>松本副会長</p>	<p>デーノタメ遺跡を残すことは、まちづくりに寄与するという意味で書いておきたいと考えます。</p>
<p>今井委員</p>	<p>北本市には何があると問われたときに、「デーノタメ遺跡がある」というようにしていきたいと思えます。岡田委員が言われた通り、遺跡のことを知らない人が多いならば、我々が知らしめていくようにしていきたい。</p>
<p>下村会長</p>	<p>他に意見は有りませんか。</p>
<p>今井委員</p>	<p>答申案にはないが、関連して。遺跡を保存していくということになれば素晴らしいことだが、もう少し調査をして資料を増やしてもいいのかと思えます。</p>
<p>岡田委員</p>	<p>6万㎡もの空間が残されている土地は、北本にはほかにない。ここを公園や緑地として残すことに反対する市民は極めて少ないと思えます。遺跡が保存されることがまちづくりの一環として、全庁的に議論になれば良いと考えます。</p>
<p>下村会長</p>	<p>昔、桶川の高井遺跡が調査されたとき、住居跡が一軒残された。また、鴻巣でも免許センターのところに、金属製の骨組みで住居が復元されている。点で</p>

会 議 記 録 ( 6 )

	<p>残される遺跡は多いが、何としても遺跡を面に残せれば素晴らしいことです。</p> <p>事務局(磯野)      その他の項目で、次回の日程について調整を摂りたいと思います。現在デーノタメ遺跡は注目の的で、急遽2月5日に、考古学協会の要望書について記者発表したいとの話があります。この中では地元の考えなど聞かれることもあるかもしれないため、答申については早くまとめていきたいと考えています。このような状況で大変恐縮ですが、次回を2月10日とさせていただきたいと思ひます。また、この日にご審議いただきまして答申をまとめ、13日の定例教育委員会で議題としてあげていきたいと思ひます。</p> <p>岡部委員          考古学協会の要望書は県、国にも出していると聞いたが、そこはどのようになつていますか。</p> <p>事務局(磯野)      文化庁は聞いていませんが、埼玉県は回答しない方向で調整しているそうです。</p> <p>事務局(坂田)      (その他) 石戸蒲ザクラの剪定の報告と根系調査の予定について。 来月根系調査を行うので、今度の審議会で報告を行いたい。</p> <p>事務局(磯野)      埼玉県立歴史と民俗の博物館で行われる企画展において、デーノタメ遺跡出土の遺物群が展示される旨の報告を行う。</p> <p>【第4回文化財保護審議会の開催日程について】 日 程：2月10日(月) 時 間：14時より開催</p> <p>7 閉 会 松本副委員長によるあいさつで閉会</p>
--	---

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきを証するために署名する。

令和2年2月21日

下村克光